



与野七福神めぐり

歩いて健康!
拜んで開運!

七福神めぐりとは、江戸時代から続く風習で、七つ幸福をもたらす七人の神様を祀っている寺社を巡ってお参りすることです。現在、日本各地に数百の七福神があるようですが、ここ「さいたま」の与野七福神は、徒歩約2～3時間でめぐれるお手軽なコースが特徴。お正月期間は各寺社でご朱印を集めることができますので、初詣を兼ねての巡拝がおすすめです。もちろん、ご朱印にこだわらなければ、いつでも七福神めぐりは可能ですので、地図を片手に風景を楽しみながらお散歩気分で散策するのもGOOD!



- 期間 1月1日～7日
※この期間中は、各寺社にてご朱印(有料)が集められます
- 所在地 与野本町通り周辺ほか(中央区)
※最寄のJR与野本町駅から徒歩約7kmくらいです!

〈ご朱印の集め方〉
最初に参拝した寺社で専用の色紙(そこのご朱印は押印済)を購入すれば、あとは残りの六寺社を順次参拝する毎に押印(有料)するのみ!ご朱印を集めるのが面倒という方のために、七寺社分押印済の色紙もありますよ。
七寺社押印色紙 2,000円
一寺社押印色紙 1,000円
押印 1回100円
※各料金は予定



〈オススメの寺社授与品〉
福神が描かれた「絵馬」7つ集めたくくなります!?



〈イベント情報〉
1月3日11:30～14:00には、七福神仮装行列(パレード)も開催されます。七福神がご宝銭を差し上げますので、この日にあわせての参拝もおすすめ!



①福祿寿 上町氷川神社

さいたま市中央区本町東6-7



与野の氏神様。樹齢500年のけやきの大木がそびえ立つ樹緑地帯です。境内は、鳥居から拝殿、本殿へと北に向かって扇子を開いたような末広がりで「扇の宮」とも呼ばれていました。

【ご利益】幸福(福)と高給(禄)と長寿(寿)の神(中国の神)



②恵比須神 一山神社

さいたま市中央区本町4-10-14



木曾御嶽講の四大講祖のひとり、一山行者ゆかりの神社。毎年冬至には「ゆず祭り」が行われ、炊き上げや火渡りの行事が有名です。

【ご利益】商売繁盛の福の神(日本の神)



③寿老神 天祖神社

さいたま市中央区本町西1-13



与野公園の中にあり、正面入口から右へ少し登ると赤い鳥居と社殿があります。境内には1805年に「天下泰平、国家安全」を祈念した石碑や記念碑があります。

【ご利益】老子の化身で、1,500歳の超長寿を全うした長寿の神(中国の神)



④大黒天 円乗院

さいたま市本町西4-13-10



倉幕府の武将・畠山重忠が創建した名刹。山門右にある高さ30mの多宝塔は見応え充分です。

【ご利益】右手に小づち、左肩に袋を下げた蓄財の神(インドの神)



〈マメ知識〉
七福神は室町時代に竹林の七賢人になぞらえて七体の福神を取りそろえたのがはじまりとされており、インドや中国、日本の神様から選ばれています。



⑦弁財天 二度栗山弘法尊院

さいたま市中央区新中里3-5-29



二度栗山とはその昔、1年に2度栗の実を結ばせたと伝えられた山(丘)との伝説から呼ばれおり、明治36年に北足立八十八箇所弘法大師霊場の三番として創建されました。現在、境内は改築中です。

【ご利益】七福神唯一の女神で、学問・芸術・財運の神(インドの神)



⑤布袋尊 円福寺

さいたま市中央区上峰4-7-28



室町時代からの古刹。本堂には江戸中期の木造阿彌陀如来像や毘沙門天、不動明王を安置しています。

【ご利益】未来予知ができる福德の神(中国の神)



⑥毘沙門天 鈴谷大堂

さいたま市中央区鈴谷8-4



入口にある六地藏は1667年建造。仏堂には阿彌陀如来像(江戸時代中期)や聖観音坐像(室町時代)などが安置されています。

【ご利益】鎧・兜を身につけた知恵と勇気の守り神(インドの神)

